

最優秀賞

神奈川県教育長賞

「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに

大井町立相和小学校

六年 犬塚 美沙

「ふくし」ってなんだろう。みなさんは考えたことがありますか。私は今まで「ふくし」の意味についてよく理解していませんでした。

調べてみると、「ふ」だんの「く」らしを「し」あわせに の頭文字をつなげてみると、「ふくし」になるという言葉を見つけました。私はその言葉を見た時、自分が通っている学校のことを頭にうかんできました。

私に通っている相和小学校では、去年から「相タッチ」をしています。この活動は企画委員会と六年生が中心となり、朝校門で学校に来た児童に、あいさつとハイタッチをする活動です。校門以外にも、ろう下、階段などいろいろな場所で相タッチをしています。学校の中

だけでなく、私が住んでいる上山田では、ボランティアの方や駐在さんとも相タッチをしています。そのおかげで登校する私たちも見守りをしてくださる方々もみんなが笑顔であいさつを交わすことができます。

私は今まで「福祉」とは、お年寄りや体の不自由な方たちが幸せになること、そういう人たちに優しくすることだと思っていました。だけど、「福祉」について考えて、「福祉」とは、みんなが幸せに暮らすことだと思ようになりました。

そして、みんなが毎日を楽しむこと、これは「相タッチ」でもできているのではないかと考えました。なぜなら、「相タッチ」はみんなが笑顔になる、そして、幸せになる工夫だからです。すると、急に福祉をとっても身近な存在に感じてきました。今、私達企画委員会では、ポカポカ言葉を広げる活動をしようと考えています。やらされるのではなく、自分からポカポカ言葉を言うことで、相和小を笑顔にしたいからです。私はこの福祉の意味をみんなに広めて、これからも「相タッチ」をしていきたいと思っています。